

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名	理 科
-----	-----

	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	補充的・発展的な 学習指導計画
第3学年	<p>・動植物に対する関心が高く、観察や採集などの活動に意欲的に取り組んでいる。科学的な思考については、事物と事物の関係を捉えたり比較したり、共通点や違いを考えたりすることができるようになることが課題である。</p>	<p>・実際に目や手に触れる観察の機会を多くもち、さらに関心・意欲が高められるようにする。科学的な思考力を身につけさせるために、実験や観察からわかったことを、まず自分の言葉で整理し、それを交流しあう活動を取り入れる。</p>	<p>・科学的な思考力を高められるようなワークシートを作成したり、記入の仕方を工夫させたりする。また、自分の考えを説明する場面を多く設定する。</p>
第4学年	<p>・理科の学習に対して関心が高く、実験や観察に進んで取り組む。実験や観察からわかったことをもとに、自然の事物・現象の変化とその要因を関係づけたり、自分の考えを表現したりすることが苦手である。</p>	<p>・グループでの活動や発表する機会など、情報交換の場をより多く設けることで、学び合いを大切にしながら学習を振り返り、深め、視点を明確にし、表現方法を工夫できるようにする。</p>	<p>・学習したことをもとに、自分なりに考えて体験的活動の機会を多くし、観察の観点を明確にできるよう、児童の興味や関心がさらに深まるよう場を設定する。</p>
第5学年	<p>・課題に対して既習事項や生活体験を生かして、予想を立てることが苦手である。</p> <p>・実験や観察から分かったことをまとめ、その結果を比較したり生活と関連させたりして、理解を深めることが課題である。</p>	<p>・単元の終わりに振り返りを行い、実験や観察の結果とそこから分かったことをつなげて、理解を確かなものにさせる。</p> <p>・自分の考え方や根拠についても意見をもたせ、発言する場面を与える。また、次の思考場面に生かすことができるようにさせる。</p>	<p>・日頃より天気の変化や植物の生長を観察させ、日常生活における自然的事象に興味や関心をもたせる。</p> <p>・実験結果から分かったことをノートに自分の言葉でまとめ、発表・交流させる。</p>
第6学年	<p>・実験・観察への興味・関心は高く、記録したりすることをまとめる力もついてきている。それをもとに科学的な思考を深め、自然事象についての知識・理解はまだ十分とはいえない。</p>	<p>・問題解決型の授業を多く取り入れ、自分の課題をしっかりとつかませたり、それを解決する方法をじっくりと考えたりする時間を多くとるようにする。また学び合いをするように、それに取り組む時間を多くしていく。</p>	<p>・ノートの点検や小テストを実施し知識理解の定着を図る。また調べたことやわかったことについて個々にノートにまとめ、発表する場を設ける。</p>